

第1回 定例会

予算審査特別委員会審査報告

一般会計など全予算を“可決”

本定例会では、第1および第2予算審査特別委員会を設置し、3月13日から15日まで各委員会を開催し、令和5年度予算の一般会計1件ならびに特別会計4件、企業会計2件について審査を行いました。

国学院大学北海道短期大学部 連携事業補助金

問 国学院大学北海道短期大学部連携事業補助金の内容について伺う。

答 国学院大学北海道短期大学部が実施する地域住民の文化教育活動に寄与する取り組みや、学生の地域活動等地域づくりに貢献する取り組み、学生の地元就職に向けた取り組みに対する補助金である。

企業版ふるさと納税

問 企業版ふるさと納税を今後どのようにPRしていくのか。

答 滝川市の施策に賛同いただける企業を選定し、PRを展開していくとともに、それ以外に市公式ホームページへの掲載やパンフレットの作成、当市と関係のある企業等に対するセールス活動、東京滝川会等へのPR活動を展開していく。

老人クラブ

問 老人クラブ運営費補助金の申請等事務作業を軽減するため、市職員が老人クラブに出向いてサポートすることはできないか。

答 全クラブの担当者にお集まりいただき、事務手続き上の課題を聞き取る等して、市と老人クラブ連合会の役割分担を整理したい。その上で市職員が事務処理のお手伝いをするとも検討していきたい。

除排雪

問 交差点角の除雪の仕方をどのように指導しているのか。

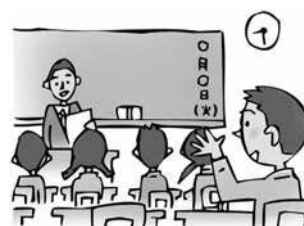
答 除雪業者には交差点に極力雪を積まないよう指導しているが、民間等が行う除雪で雪を置く場合があり、状況を把握するのが難しい。交差点排雪は年2回実施し、見通しが悪い箇所の解消に努めている。



教職員の研修

問 教職員の研修について、教育センターで行われているものとは別に、市独自の研修を行っていく考えはあるのか。

答 市独自の取り組みとして、市内の小・中学校の教職員を対象にした道徳に関する研修会に、全国的にも著名な講師を招き、子どもたちへの模範授業をととした授業研究会の実施、道徳の授業についての講演をしていただく予定である。



コロナ後の商工業金融対策

問 コロナの影響で企業等がお金を借りたと思うが、コロナ後についてはどうなと考えているのか。

答 コロナ禍における制度融資は、コロナ関連の制度の方が有利であるとの理由から、繰り上げ返済等も含め、貸付金額は減少傾向にあった。今後は、その他の融資の据置期間が到来するということもあり、市が行う制度融資が資金調達に係る施策として準備しているという側面から引き続き予算計上している。

丸加高原伝習館

問 丸加高原伝習館などの運営管理に要する経費について、今後も継続的に必要となる経費は何か。また、今後の対応について伺う。

答 伝習館の中にある水道設備を監視するための計装設備にかかる費用は、今後予定している専用水道の改修工事が終わるまで必要となる。その他、残留塩素濃度を維持するための放水にかかる水道料、草刈や除雪に使用する燃料が必要となる。改修工事が完了した後は伝習館とグリーンヒル丸加、オートキャンプ場を廃止するまでの間、費用は発生する。また、改修工事に必要な資材等の調達にも現在の社会情勢が大きく影響していることもあり、改修工事完了には、数年かかる見込みとなっている。

市立病院の医療機器の整備

問 医療機器の整備で1億6,000万円の予算が計上されているが内訳について伺う。

答 例年1億5,000万円程度の範囲で整備をしている。令和5年度の内訳は、透析装置、麻酔装置、検査機器等の医療機器のほか、PHSを含む電話交換機の更新である。

看護師の充足率

問 当初の准看護師も含めた看護師の人数は217人とのことだが、看護基準である患者7対看護師1を基礎とする充足率はどのようになっているのか。

答 今年度の充足率は、看護基準の7対1を100%だとすると、109%弱となっている。



修学資金貸付制度

問 修学資金貸付制度の内容について伺う。この制度は看護師だけでなく、市で働く保健師や助産師なども対象になるのか。

答 看護学校等に在学し、滝川市立病院の看護師を目指す方に1年間に最大60万円の修学資金を貸付するもので、例えば3年間借りていた場合市立病院で5年間勤めると全額返済免除になる。この制度は、市立病院の看護師確保対策として市立病院に入職する方を対象と限定しているため、市の保健師や助産師として入職する方は対象外である。

開西団地

問 開西団地の第1期工事のスケジュールについて伺う。

答 今後の流れについては、入札は4月に予定している。工事は令和5年度と6年度の2か年計画であり、第2回定例会で議会の議決を受けた上で本契約を結び、6月頃の着工を予定している。完成期限は令和6年7月31日と考えている。

予算審査特別委員会 における各会派討論

◎会派清新

歳入では、市税が伸び悩む中、首都圏や関西圏などでの積極的なPR、魅力的な商品開発によりふるさと納税を推進し、一層の歳入確保に努められたい。歳出については、0歳から中学生までの医療費を完全無償化したことを評価するとともに、今後は対象を高校生まで拡大することを望む。市公式ホームページの更新について、欲しい情報へのアクセスが容易にできるようカテゴリーの整理や全体のスリム化を図るとともに、将来のIT技術革新に耐えられるような技術の導入、セキュリティ強化に努められたい。

病院事業会計について、新年度は既存診療の充実と患者本位の病院運営にさらなる努力をお願いする。コロナの感染状況等を勘案しながら患者家族の面会再開について前向きに検討するよう望む。

◎新政会

歳入では、国や道の動向を的確に捉え、交付税・補助金の確保に向け引き続き努力し、自主財源確保のため、ふるさと納税及び企業版ふるさと納税の広報戦略等を拡充させ、寄付額の増加に尽力されたい。

民生委員・児童委員のなり手不足解消に向け、市担当者が各種団体等の会合等に出向き、制度説明等を行うなど人材確保に努められたい。本市と赤平市の境界付近を流れるポンクラ川に

ついて、防災上、大改修が必要であることから、赤平市と連携し、本河川を北海道が管理する河川に昇格するように要望を継続して行うことを望む。下水道設備の長寿命化も一部は限界を超えているので、設備更新を想定した資金の内部留保に努められたい。

◎会派みどり

歳入では、ふるさと納税の増額や企業版ふるさと納税も盛り込まれており、首都圏等でさらなるPR活動の強化に努められるとともに、市税の収納率向上を図りさらなる財源確保を求める。歳出では、新たな滝川市総合計画の策定により、今後の滝川市のまちづくりが進められる中、新文化センター建設に向け規模・場所が決定される年になると思われる。できる限り市民ニーズに合致した施設になることを望む。

介護保険特別会計では、アフターコロナにマッチした事業を実施し、市民に分かりやすい説明と確実な給付に留意されたい。国民健康保険特別会計では、国民健康保険の収納率向上に努め、特定検診を確実に実施することで、市民の健康増進を図られたい。また、健康診査など予防事業を確実にを行うため、対象者への広報活動を充実されたい。

◎公明党

コロナ禍も終息の兆しが見え、理事者・職員一同がアフターコ

ロナの時代に対応し、今後の推移を注視しながらの予算編成をされたことに敬意を表する。

全国的に人口減少・少子高齢化が予想されているが、中空知の中核都市である滝川市の政策により改善できると考える。企業誘致・少子化対策・高齢者福祉などに積極的な先行投資をするよう取り組まれたい。

新年度は、新滝川市総合計画に沿った様々な計画が立案され、コロナ後の再生に向け、重要な1年になることを肝に銘じており、これまで以上に議会が活発な議論の場となるよう決意を新たにしている。

市長のリーダーシップの下に、議員・職員が一致団結して、滝川市のため英知を集結し、取り組むことを望む。

◎日本共産党

病院事業会計では、経営改善は大きく進んだが、今後コロナ関連の補助金がなくなることで、これまでのようにはいかない。市民の健康を守る公的病院としての役割を果たすとともに、今後も経営改善に取り組んでいただきたい。介護保険特別会計は、単身や高齢者夫婦世帯、認知症の高齢者が増加し、日常生活上の多様な支援が求められるため、様々な要求に対応する生活支援、介護予防サービスのさらなる充実を求める。

国民健康保険税は、加入者ひとりにつき年間23,100円の均等割があり、子どもの多い世帯ほど重い負担となり、国は就学前児童の均等割減額に取り組んだが十分ではない。市は中学生までの医療費完全無償化に合わせ、中学生までの均等割免除に取り組んでいただきたい。